

事務事業名	広報やまと発行事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市長室	広報広聴課	広報係	田口 由紀

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		健康な行政経営・分かりやすい行政経営	
	個別目標		相互理解に基づく行政経営	
	めざす成果			
根拠法令	名 称	広報やまと発行規則		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和34年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	52,896	54,322	55,609
	人件費	25,204	27,010	27,010
目 的	総事業費	78,100	81,332	82,619
広報やまとを発行し、市民にとって分かりやすく正確な行政情報を提供します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金	726	
手段、手法【実施手法：直営・委託】	・「広報やまと」を月2回発行し、配布します。 ・視覚障がい者や聴覚障がい者には、点字版や録音版による情報提供を行います。		県支出金	363
			市債	0
			その他	1,304
			一般財源	53,216
			合 計	55,609

3. 活動内容

活動指標1	名称	年間発行件数		単位	回
	内容説明	月発行回数2回×12月			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定	24	24	24
		実 績	24	24	――
活動指標2	名称	声の広報年間作成回数		単位	回
	内容説明	年間に作成した回数			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定	24	24	24
		実 績	24	24	――
活動指標3	名称	点字広報年間作成回数		単位	回
	内容説明	年間に作成した回数			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定	24	24	24
		実 績	24	24	――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・広報誌の最適な発行頻度などについて検討を進めます。					

事務事業名	市政等PR事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市長室	広報広聴課	広報係、市政PR戦略係	田口 由紀

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	健康な行政経営・分かりやすい行政経営		
	個別目標	相互理解に基づく行政経営		
	めざす成果			
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和39年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象 市民等	総事業費					(単位：千円)		
		30年度（決算額）		31年度（決算額）		2年度（予算額）		
	事業費	63,939		61,634		69,546		
	人件費	28,540		35,890		43,290		
目 的	総事業費	92,479		97,524		112,836		
冊子、視聴覚媒体などのほか、マスコミなどを通じて市政情報を発信します。	2年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金			13			
		県支出金			1,472			
		市債			0			
		その他			388			
		一般財源			67,673			
		合 計			69,546			
3. 活動内容								
活動指標 1	名称	ニュースリリース件数					単位	件
	内容説明	ニュースリリースによる情報提供件数						
	指標値		30年度		31年度（当該年度）		2年度	
		予 定	280		280		150	
		実 績	351		202		――	
活動指標 2	名称	記者会見回数					単位	回
	内容説明	定期及び臨時の記者会見を実施した回数						
	指標値		30年度		31年度（当該年度）		2年度	
		予 定	5		5		5	
		実 績	5		6		――	
活動指標 3	名称	放送回数					単位	回
	内容説明	テレビ及びラジオの放送委託で放送した回数						
	指標値		30年度		31年度（当該年度）		2年度	
		予 定	1,827		1,832		1,906	
		実 績	1,827		1,832		――	
活動指標 4	名称	やまとニュース発行回数					単位	回
	内容説明	タブロイド判「やまとニュース」の発行回数						
	指標値		30年度		31年度（当該年度）		2年度	
		予 定	12		12		12	
		実 績	12		12		――	
課 題								
情報を発信する媒体は多様にあり、情報の内容に応じたPR活動が展開できるよう工夫する必要があります。								

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	II：見直しのうえで継続	31年度	I：現状のまま継続
	PR活動が効果的なものとなるために、それぞれの手段の特性や対象を詳細に検討しながら、業務を進めていきます。					
	【「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

事務事業名	広聴活動事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市長室	広報広聴課	広聴係	田口 由紀

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	健康な行政経営・分かりやすい行政経営		
	個別目標	相互理解に基づく行政経営		
	めざす成果			
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成22年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民及び各種団体		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	122	271	233
	人件費	29,652	29,600	29,600
目 的	総事業費	29,774	29,871	29,833
市民や各種団体等からの市政に関する意見を広く聴き、今後の市政及びまちづくりに反映します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		233
		合 計		233
・市長自らが市内各所に出向き、市民からの提案、要望等を聴取します。 ・市政に対する提案を聴くために、市民グループや市民と市長が懇談する機会を設けます。 ・インターネットを利用したアンケート調査を行い、普段、市政に意見を伝える機会がない市民のニーズを把握します。 ・「市長への手紙」で寄せられた提案等に対しては、内容に即して迅速に回答や対応をします。				
成 果（効果・予測）				
市民及び各種団体から寄せられる提案、要望、意見等から市政に対するニーズを把握し、事業や施策に役立てます。				
課 題				
市政に対して提案や意見などをしない、サイレントマジョリティと呼ばれる市民の声をより多く、どのように引き出していくかが課題です。また、広聴活動に寄せられた提案や意見がどのように市政に反映されたのかなど、追跡調査を行い、市民にフィードバックしていく必要があります。				

活動指標1	名称	市長への手紙受付件数			単位	件
	内容説明	市長への手紙を受け付けた件数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	300	300	300	
		実 績	335	340	――	
活動指標2	名称	市長出前トーク実施回数			単位	回
	内容説明	市長出前トークを実施した回数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	40	36	24	
		実 績	36	27	――	
活動指標3	名称	あなたの一言提案受付件数			単位	件
	内容説明	あなたの一言提案受付件数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	800	800	800	
		実 績	301	730	――	
活動指標4	名称	やまとeモニターアンケート配信回数			単位	回
	内容説明	eモニターでのアンケート配信回数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	6	6	4	
		実 績	3	4	――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	サイレントマジョリティを含む多くの市民の意見を聴取できるよう、さまざまな広聴事業を引き続き実施するとともに、寄せられた意見の反映状況等をより早く公開して、市民にフィードバックするよう努めていきます。					